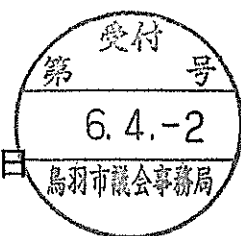


様式第1号(第5条第1項関係)

令和 6 年 3 月 29日



鳥羽市議会議長

河村 孝 様

住 所 鳥羽市白木町141番地
議員名 南川則之



政務活動費収支報告書

鳥羽市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項に基づき、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 政務活動費 156, 000 円

2 支 出

(単位:円)

科目	金 額	備 考
調査研究費		
広報費	156, 000	「南の風だより」発行
研修費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務費		
合計	156, 000	

3 残 額 0 円

支 出 伝 票

使途項目	広報費
支 出 金 額	156,000 円
支出年月日	令和5年9月21日・令和6年2月20日
使 途 内 容	「南の風だより」印刷代・新聞折込代
領収書・その他証拠書類	
☐ 裏面添付	第 9号（令和5年9月17日発行）印刷代・新聞折込代84,634円 第10号（令和6年2月17日発行）印刷代・新聞折込代79,876円 印刷代・新聞折込代合計164,510円 うち政務活動費156,000円 自己負担 8,510円
支 出 先	大和印刷
按 分 率 等	
備 考 欄	

南川則之樣

令和 年 月 日

金額	百	十	万	千	百	十	円
		9	8	4	6	3	4

現金	
振込	
小切手	

但、7月15日付の「印刷機」の納入
上記金額正に領収いたしました

〒516-0007 三重県伊勢市小木町740

大和印屏

TEL. 0596-36-2616

FAX. 0596-36-2658

登録番号:T2810647666010

内消費税(10%)

辛

极者印



南川則之 様

令和 6 年 2 月 20 日

金額	百万	十万	万	千	百	十	百
		9	7	9	8	1	6

現金	✓
振込	
小切手	

但 10月10日 42代・50代
上記金額正に領収いたしました

〒516-0007 三重県伊勢市小木町40

大和印

TEL. 0596-36-2616

FAX. 0596-36-265

内消費税(10%)

¥ 7261

极者印



南の風だより

2023年 9月17日発行

発行責任者
島羽市議会議員 南川剛之
(みなみかわ のりゆき)
○連絡先
〒517-0043
島羽市白木町141番地
電話 090-2687-8799

市民の声、強い想いを市政に反映

(二期目のスタート)

今年の夏は、猛暑が続きましたが、市民の皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか。

市民の皆さんのお力で4月に当選証書をいただき、二期目のスタートを切ることが出来ました。

今後も、島羽市がどのように発展すべきか、自分がどのような役割を担うべきか、市民の皆さんの声を聞いて行動し、全力で働いていきます。

今回は市議会において、令和5年3月、6月の定例会での私の一般質問を中心にご報告させていただきます。

***かもめバスは、市民の生活を支える交通手段のひとつです。かもめバスの運行について質問しました。**

かもめバスの利活用

(質問)

偶然にも本日6月16日から18日まで、志摩市を会場とするG7三重・伊勢志摩交通大臣会合が開催されておりま

す。

かもめバスの運行経費と令和4年度実績の利用者数はどれだけの差がありますか。

(答弁 定期船課長)

令和4年度見込みとなりますが、運行経費は、約1億4,000万円です。乗車人数は、約17万3,000人です。

(利用者の声)

・ハローに入る便が減少している。

・安楽島方面から伊勢に通う学生が、電車との乗り継ぎが不便で、帰宅時に島羽駅で長時間待たなければならぬ。

・朝の便で離島に荷物を送るために乗車しても島羽マリントーミナルに停車しない。停車する島羽バスセンターから重い荷物を持って歩かなければならない。

市街地を周回する循環便のかもめバスの検討

(質問)

多くの改善要望の話もあります。かもめバス利用者のニーズに合ったダイヤ編成、利

南の風だよりについて

北風のふきつける、市民の皆さんの生活に冷たい風を吹かせるのではなく、南の風だよりを通して、市民の皆さんの日々の生活に温かい風を送り続けるように頑張りたいと考えています。市民の皆さんのご意見、ご要望を是非お寄せください。

(答弁 学校教育課長)

高校生を持つ家庭の経済的負担軽減を目的に、離島その他の地域から在籍する高校生にできる通学費等の一部を補助する制度です。

(質問)

令和2年度から高校生通学費等補助金制度の交付資格者を島羽高校に通学する生徒の家庭と、離島から通学する生徒を持つ家庭のみとしています。公平性という観点から全島の未来ある高校生にこの補助金を支給すべきと考えますか。

(答弁 市長)

高校生を持つ家庭の経済負担は大変だと分かっています。ので、次回みなおすときは、総合的な観点から検討したいと思っています。

***65歳以上の1人暮らし及び高齢者のみの世帯が増加する中、高齢者の生活支援について質問しました。**

本市の一人暮らしの高齢者支える支援について

(質問)

離島高齢者見守りのためのコミュニケーションロボットを活用した実証実験とはどの

ようなものですか。

(答弁 健康福祉課長)

離島4島の高齢者宅へ設置し、高齢者の暮らしに寄り添うことで生活相談や安否確認、サービスの提供を行い、各種センサーを活用して自宅での生活リズムや活動量、温度等の状況をクラウド経由で可視化し、複合的に見守りを実施する調査を行います。

(質問)

前述のロボットを活用した

今後の取組みはどのように考えていますか。

(答弁 市長)

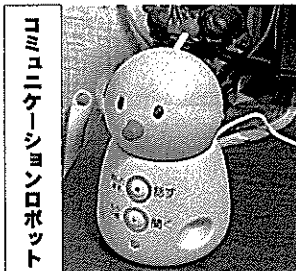
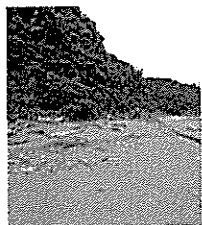
関係者の評価を聞き、自分も高齢者になった立場を考えると一定の効果があると感じた所です。今後もICT技術の活用などで、コンパクトなネットワークの取組みを進めていきたいと思います。

(裏面につづく)

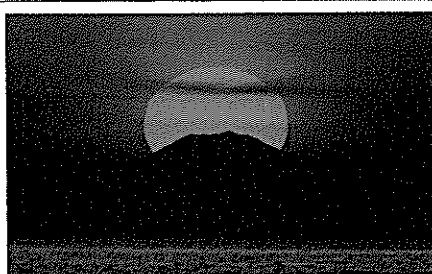
伝統の継承・盛大に 菅島「しろんご祭り」

海上安全と豊漁を願う海女の祭典「しろんご祭り」が7月8日、島羽市菅島町で4年ぶりに一般公開されました。島の祭りを統括する祭典委員長の西村綱生さんは、「島外の人を入れるのは久々で、にぎやかでありたい。しろんご祭りは、島で一番の重要な行事です。高齢化で人手は減ってきているが、なくさずつないでいきたい。」と願いを込めました。祭りは約七百年前、島に現れた白蛇を龍神の使いとしてあがめ、大漁と海上安全を願ったのが起源とされています。

6月2日の豪雨により流木が浜に打ち寄せ撤去が大変でしたが、海岸を管理する志摩建設事務所との協力と町民の皆さんの皆様が清掃活動を行って、無事当日を迎えることができました。伝統を継承するという町内会の皆さんの思いが叶った「しろんご祭り」でした。



コミュニケーションロボット



(岡村廣治さんのこの一枚)
岡村廣治さんは、伊勢志摩ネチャーフォトクラブの会員です。
この写真は、令和5年6月18日午前4時45分に二見町松下の神前海岸から撮影した夕イヤモンド富士です。

【質問】
65歳以上の1人暮らしや高齢者のみの世帯が年々増加する中、高齢者の支え合いの仕組みづくり推進のための行政の役割について、市長の考えをお聞かせします。

【答弁 市長】

人が網目のように繋がっていくことがこれからの鳥羽市には必要だと思います。高齢者福祉だけでなく、つながる、つなげるの各種取組を推進して、支え合いや見守り、福祉サービスなどの支援に取り組みたいと思います。

ふれあいいきいきサロン

【質問】

鳥羽市は、地域の交流の場として「ふれあいいきいきサロン」の普及を応援していますが、どのような取り組みを行っていますか。

【答弁 健康福祉課長】

市の委託事業として鳥羽市社会福祉協議会に実施していただいています。このサロンは、民生委員や地域の方が代表となり、高齢者等が地域で気軽に交流できる場として運営していただいています。サロン活動を通じて、近隣とのつながりづくりを行うことで見守りや支え合い、介護予防、認知症予防等につながる効果があると考えています。平成17年から実施して、令和3年度の実績では、高齢者サロンは35か所、実施回数544回、年間利用延べ人数は5438人です。

*市内には、高齢者福祉サービスを利用していただいている市民もたくさんおられます。主なものについて質問しました。

高齢者福祉サービス

【質問】

高齢者福祉サービスのニーズは増加していると思います。各種サービスの内5事業について目的、内容などについて聞きます。

「配食サービス」について

【答弁 健康福祉課長】

一人暮らしの65歳以上の高齢者の方や、高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で調理が困難な方、または、障害等の理由で調理ができない方に対して、高齢者向けに細かく刻んだ食材を使い、栄養バランスのとれた食事を自宅までお届けするとともに、対象者の安否確認を行っています。利用者数は、令和4年度1月末現在で、鳥羽地区28人、安楽島地区15人、加茂地区24人、鏡浦地区6人、長岡地区2人、離島地区11人で合計86人です。

「緊急通報システム設置サービス」について

【答弁 健康福祉課長】

市内に居住する65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者だけで暮らす世帯で、慢性疾患

等で日常生活をするうえで注意を要する方などを対象に、家庭にある電話回線を利用して、急病などの緊急事態が発生したときなど、迅速かつ適切な対応につなげるための通報システムで、高齢者が在宅で安心した生活が送れるようにするものです。

利用者数は、令和4年度1月末現在で鳥羽地区22人、安楽島地区8人、加茂地区10人、鏡浦地区2人、長岡地区2人、離島地区13人の合計57人です。

「移送サービス送迎業務」について

【答弁 健康福祉課長】

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者及び身体障がい者の方を対象に、利用者の自宅から医療機関との間の移送を行う支援をしています。

令和5年1月末現在の利用者数は、鳥羽地区54人、安楽島地区29人、加茂地区42人、鏡浦地区18人、長岡地区13人、離島地区21人の合計177人です。

「見守りシール交付業務」について

【答弁 健康福祉課長】

認知症等により所在不明となった高齢者を早期に発見し、生命・身体の安全を確保するとともに、介護者の精神的負担を軽減するものです。利用者数は、令和4年度1月末現在で鳥羽地区3人、安楽島地区8人、加茂地区7人、鏡浦地区2人の合計20人です。

「買い物支援での本土と離島の状況」について

【答弁 健康福祉課長】

移動販売事業は、商店のない地域や高齢化率の高い地域に移動販売車を走らせることで、買い物弱者である高齢者等の福祉の増進を図る目的で取り組んでいます。移動販売車は、2台が稼働して、週5日、25か所販売を実施しています。

利用者数は、令和3年度で、年間延べ18764人の利用がありました。

離島の買い物支援については、神島の集落支援員が高齢者の買い物代行支援を月1回程度行っています。

見守り支援サービスの継続を決定！

「市長の決断に感謝」救われる高齢者！

鳥羽市は、令和5年度6月補正でコミュニケーションロボットを活用した実証調査を継続しました。

・対象地区 離島地区
・対象者 一人暮らし又は高齢者のみの世帯 20人
・高齢者見守り支援検証事業

「コミュニケーションロボットを活用し高齢者に日々声掛けをすることで、日常の様々な課題の早期発見・解決や高齢者の不安・孤独感の解消に効果があるとして、更に実証調査を行います。

「町の話題・取組み」

「坂手町全域でのネットワーク障害」

5月14日23時13分頃、坂手町全域でネットワーク障害が発生しました。株式会社ZTVの調査では、本土と坂手島間の海底光ケーブルの断線による幹線の不具合が原因とのことでした。

復旧までには長期化することでしたが、株式会社ZTVの努力によりTV放送、インターネット回線、電話回線などの復旧が行われました。私もZTV伊勢放送局を訪ねて通信技術担当者に状況を確かめさせていただきました。原因究明、本復旧にはかなりの時間を要することとなりました。早期の対応をお願いしました。

「神島町に泳ぎ着いたイノシシ」

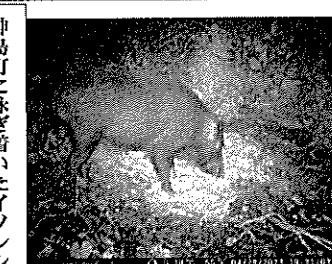
2月16日神島町内会長から市役所にイノシシが島内に泳ぎ着いたのではないかと連絡がありました。市の担当者が鳥羽市猟友会の協力を得て調査を開始しました。2月21日に現地調査の結果、イノシシの生息を確認したそうです。その後も担当職員は、鳥羽市猟友会の協力を得ながら、イノシシの設置、くくりなどの設置などを試みて、7月28日の早朝に捕獲の通報があり、鳥羽市猟友会の協力を得て対応が完了したそうです。

の合唱、つくしんぼうの唄、桃取出身のはまぐちバンドの歌と演奏で会場は満席でした。母の日にふさわしい歌声と演奏でした。



つくしんぼうの唄

でした。それにしても神島まで泳ぎ着いたイノシシは初めてということでも今後注意深く監視していく必要があります。



神島町に泳ぎ着いたイノシシ

「白木町の夏祭り」

私の住んでいます白木町では、コロナの影響で夏祭りの開催が出来ませんでした。久しぶりに8月13日に開催されました。やはり夏は、祭りです！子ども達も楽しみにしている夏祭りです。みんなの力で継続していきたいと思っています。



白木町内会の夏祭り風景

今後市民のみなさんのご意見、ご要望を私にお寄せください！

南の風だより

2024年 2月17日発行

発行責任者
鳥羽市議会議員 南川(則之)
(みなみがわ のりゆき)
○連絡先
〒517-0043
鳥羽市白木町141番地
電話 090-2687-8799

能登半島地震・震度7

(南海トラフ巨大地震対策急務)

今年の1月1日午後4時10分頃、石川県志賀町で震度7の地震があり、全国に激震が走りまわった。被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

【質問】
中村市長就任7年目ですが、町内会、自治会からの要望の積み残し件数と事業費について聞きます。

市民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年も、鳥羽市がどのように発展すべきか、自分ごとのような役割を担うべきか、市民の皆様の声をお聞きして行動し、全力で働いていきます。

【答弁 建設課長】
建設課への要望件数は、7年間で262件、その内147件は対応済みで、残りは115件です。

現時点で実地現場に入って詳細な測量設計していないため、事業費については把握していません。

【質問】

インフラ整備に関する要望の積み残し件数は115件というところですが、市長はこの要望の積み残しをどのように考えていますか。なぜ市民の要望を叶えてやらないのですか。

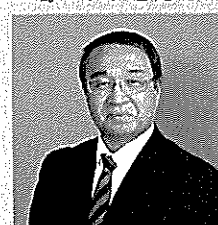
町内会・自治会からの要望

*町内会・自治会からの要望に対する市の実施状況を質問しました。

【答弁 市長】

当然地域で精査されて上げてこられたもので、深刻なものが多いと思っています。積み残しと言われたいように思っています。

南の風だよりについて
北風のふき、市民の皆様への生活に冷たい風を吹かせるのではなく、南の風だよりを通して、市民の皆様の日々の生活に温かい風を送り続けるように頑張りたいと考えています。



*危険なブロック塀の撤去補助金について質問しました。
【伊勢市の補助金の取組】
平成25年度から実施。これまで、274件、1516万8千円を市民に交付している。令和5年度も500件分500万円の予算計上。

【岡村廣治さんの一枚】
岡村廣治さんは、船津町にお住まいで、「フット・ア・ト・いせ」の会員です。
この写真は、令和5年12月3日、神路ダム湖でオンドリが飛び立つ様子を撮影したものです。

*市道部分の不法占用について質問しました。

【質問】
金比羅宮の鳥羽分社に向かう扇形から上の市道掘削山線の道路約130mは、どのような状況で、それは道路の不法占用なのか聞きます。

【答弁 建設課長】

個人の方が物を置き、一部市道にはみ出している状況で、占用許可申請は出ていないため、不法占用です。

【質問】

令和2年10月13日付で、9町内会、崇敬会長の連名で「不法投棄ごみ撤去の要望書」を鳥羽市に提出しています。道路の不法占用の状況は悪化していますが、どのような指導・監督処分を行っていますか。

【答弁 市長】

道路側溝上に物を置いていたり人物を助けて、担当課で直接口頭により撤去を行うよう行政指導を行いました。その効果はなかったのですが、今後も粘り強く指導し、監督処分も行っていく予定です。

*要望書の令和3年4月23日付、市の回答は「不法

令和5年6月2日の豪雨 河内町内での被害

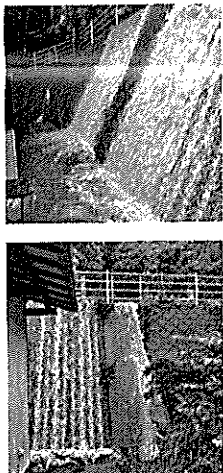
令和5年6月2日鳥羽市内では、豪雨により24時間降水量481ミリ(市歴代1位)を観測しました。市内各所で冠水、土砂崩れなど大きな被害がありました。河内町片岡屋敷付近の状況を例に質問しました。

【質問】6月2日の豪雨により河内町の片岡屋敷付近の水路から越流し、民家が床下浸水する状況となり、土砂も10立米以上撤去したという話を聞いています。土砂災害防止の対応をすべきと思いますが、いかがですか。

【答弁 市長】豪雨により地域の被害に遭われた方にとって、本当に深刻な状況だと思います。しっかりと対応していきたいと思っています。

【質問】この場所は土砂災害の問題もあり、三重県が土砂防事業(砂防ダム建設)の実施を検討する必要があると思いますが、いかがですか。

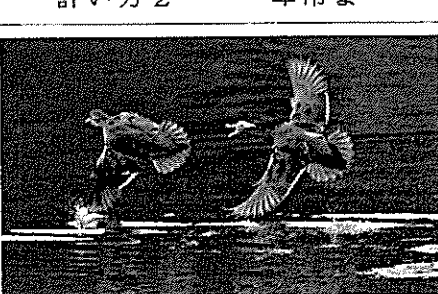
【答弁 建設課長 砂防事業について】
このことでは、公共施設を保全するという採択要件等があります。今話を頂戴しましたので、事業化できるかどうか考えたいと思っています。



(水路から越流し、擁壁を流すように流れる雨水)

投資家へのごみ撤去の指導として、道路上の占川物は撤去するよう指導していただきます。
不法ごみ撤去に応じない場合は強制撤去として、道路上の占川物は撤去要請に応じない場合は、監督処分を検討します。

*指導、監督処分、強制撤去など法的な対応は、道路管理者である市にしかできません。しっかりと対応を望みます。



【鳥羽市の補助金の取組】
平成30年度、令和1年度の2か年実施。18件、143万9千円を市民に交付している。令和2年度以降予算の計上無し。(裏面につづく)

＊平成30年6月大阪府北部地震で、ブロック塀の崩落により、児童含む2名が亡くなるとい痛ましい事故が発生しました。

鳥羽市も地震などの災害から市民の生命、身体及び財産を保護し、災害に強いまちづくりを推進するため、危険なブロック塀などの撤去を行うものに対して補助制度を創設しました。

2か年でやめてしまわず、近隣市同様継続した支援をお願いしたいと思っています。

中心市街地のまちづくり

(質問) これまで佐田浜から岩崎、なまちエリアにおいて、まちづくり交付金事業で施設整備を実施してきたと承知しています。これまでの整備状況について聞きます。

(答弁 副市長) 平成17年度から26年度までの10年間で都市再生整備計画を策定し、社会資本整備交付金を活用した事業を行いました。交付対象事業費は18億9200万円です。その後は、中心市街地周辺のハード整備に関する計画は策定しておらず、新たな整備事業は行っていないです。

(質問) 市長は、中心市街地のまちづくりについて、どのような方向性を持って動いていますか。

(答弁 市長) 今後は、中心市街地を含めた鳥羽駅周辺各エリアの役割を考えるエリアビジョンの検討も必要であると考えています。

旧鳥羽小学校の保存活用

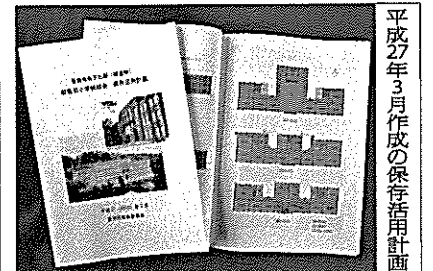
(質問) 旧鳥羽小学校は保存活用計画とおりに修繕など進めてきていると思いますが、その内容について聞きます。

(答弁 生涯学習課長) これまで耐震化工事と防水工事を実施し、令和6年度で外壁の工事を完了します。これまでかかった費用は、約9700万円です。

(質問) 旧鳥羽小学校の活用をどのように進めていきますか。鳥羽城や九鬼氏などの歴史について早急に資料収集と準備を進め、公開していくべきと考えますがどうですか。

(答弁 教養課長) 旧校舎は国の登録有形文化財で、これを保存していくことは我々の使命だと思っています。6年後は、旧鳥羽小学校100周年ですので、歴史・文化と絡めてしっかり活用していきたいと考えています。

(答弁 市長) 当時1万1000筆の署名があり、重く受け止めています。議員のお話ではスピードが問題かと思いますが、できるところから進めていきたいと思えます。周辺のまちづくりとも整合性を取りながら、それをプラスに変えていけるように活用していきます。



鳥羽市立海の博物館の保存活用

(質問) 平成29年10月より市立博物館となつて以降、どのような企画展を実施していますか。

(答弁 生涯学習課長) 平成30年に神島展、平成31年に坂手展、令和2年に宮島展、令和5年に小浜展を開催し、令和6年は答志島をテーマに企画展示を行う予定です。

(質問) 海の博物館は建設後約30年が経過しています。建物の長寿化に関するメンテナンスはどのように行っていますか。

(答弁 生涯学習課長) 長寿化として建物に対する修繕等は行っていないです。

(質問) 海の博物館は、30年間大規模なメンテナンスをやっていないという状態で、建築物も悲鳴を上げている状況です。長寿化に関し、早急に実施すべきものは現行の大規模ハード整備と並行して、来年度予算から進めていくべきと考えますがどうですか。

(答弁 市長) 海の博物館は、建築家内藤廣さんの出せだといふことでコンセプトを崩さないように、しっかりと長寿化をしていきたいということで担当課長にも指示しています。



防腐剤の黒いコーラタールが全て剥がれている状態

＊建築家の内藤廣氏によると、この海の博物館は、時間に耐える、災害に強い建築物で、メンテナンスをしつかりとやれば、100年以上はもたせられると話しています。

現在、8項目に渡る修繕要望が出てきています。老朽化を放置せず、しっかりとした長寿化を行っていただきたいと思っています。

スクールバスの故障

12月定例会、行政常任委員会その他の項で、鳥羽東中学校の鏡浦地区で運行しているスクールバスが頻りに故障しているということで、生徒の安全・安心のため質疑をしました。

(質問) 頻りに故障しているスクールバスはどのような状況ですか。

(答弁 教養総務課長) 鏡浦地区で運行しているスクールバスで、登録から9年が経過して、12月1日現在の走行距離は約16万8千kmです。令和5年に入って、DFFランプが9回点滅し、その都度、次回の送迎を中止し、整備工場でフィルター清掃を行っています。

(質問) 生徒の命を預かる教育委員会として、スクールバスを更新する時期に来ていると思いませんか。

(答弁 教養総務課長) 大規模ハード整備事業で、令和6年度事業として更新にかかる「スクールバス車両購入」を掲げているので庁内でも協議しています。

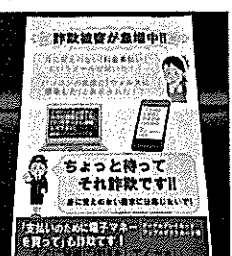
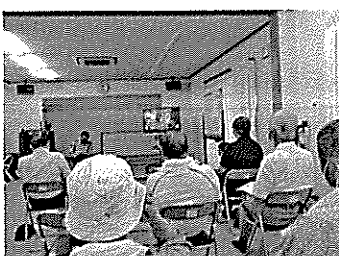


故障が発生しているスクールバス

【町の話・取り組み】

白木老人会の特殊詐欺撲滅作戦

令和5年9月10日に白木町老人会主催で、鳥羽警察署職員から特殊詐欺被害対策について説明を受けました。皆さん熱心に聞いていただきました。



鳥羽保育所の耐震化工事完成

平成2年9月議会において一般質問を行いました。1階が老人憩いの家、2階が鳥羽保育所の建築物の耐震化問題について、建物全体として危険性がある建物として、令和4年度から進めてきた耐震化補強工事が令和5年12月に竣工しました。

子ども達、保育士さん、地元住民のみなさんの願いが叶いました。

12月14日に内覧会があり、耐震化及び改修工事の完成を確認させていただきました。

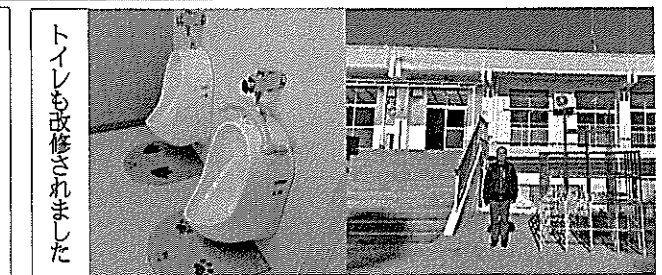


今後は市民の皆様のご意見・ご要望を私にお寄せください！

総合防災訓練の開催

令和5年11月26日、三重県・鳥羽市・伊勢市による総合防災訓練が開催されました。最大震度7を観測した能登半島地震ですが、最悪で3万人以上の死者が出るとされる南海トラフ巨大地震への備えは、鳥羽市においても急務であると改めて感じました。

巨大地震への備えは充分に対策のポイントを議論していく必要があります。



トイレも改修されました